



産後の女性のメンタルヘルスケア パースレビューを中心に

日時：2017年9月24日（日）
会場：とわ助産院 研修室
講師：群馬大学大学院 常盤洋子氏
参加人数：41名

参加者の皆さまからの声

- ・出産後数か月しても、パースレビュー、意味づけが大切だと思った
- ・いつも話を聞くだけで本当の想いを引き出せていないと感じていた
- ・産後の苦しい経験が今の辛い症状にも関連しているのではと感じる。それをケアしていくためにはどのような働きかけが必要なのか学びたいと受講した。
- ・死産の方の出産体験を話してもらおうということをしていなかった。死産であるからこそ出産体験を話してもらい再建に向っていけるように関わるのが大切だと学んだ



主催者から

早々に募集人員に達し、キャンセル待ちとなりました。パースレビューを通してメンタルヘルスケアを実践されている先生の症例の数々は大変興味深く、ただお産を振り返るだけでなくパースレビューをいかに意味づけるか、産婦がどう感じているのが気持ちに触れることの大切さを皆さん痛感されていたようです。女性にとって出産体験は大きなウエイトをしめ、助産師がそこにどう寄り添うのかによって産後鬱や虐待の予防にもつながっていくのではと思いました。

次回のお知らせ

日時：2017年12月7日（木）
会場：とわ助産院 研修室
講演タイトル：
「産後ケア事業の取り組み
～対応の難しい事例のケアの実際～」
講師：とわ助産院院長 山本年映氏
いなだ助産院院長 岩田美也子氏
横須賀市立市民病院 二見智枝子氏